

看護学科

横浜キャンパスで、看護専門職として
求められる力を育み、将来の自分を見つける。

看護学科
の
詳しい情報



附属病院で働く先輩たちからメッセージ



看護にやりがいを感じ、働き続ける。

昭和大大学横浜市北部病院勤務
堀口由香さん(2006年卒業)

消化器病棟を経て現在、泌尿器・眼科病棟で勤務しています。学生の時は、講義や実習などたいへんな日々でしたが、信頼できる先生方や一緒に大学生活を乗り越えた仲間達、充実した実習ができるように協力してくれた病棟の指導者やスタッフの方々のおかげで今、私は看護師としてやりがいを感じ毎日過ごしております。受験勉強頑張ってください。



看護を深め、学生に伝える。

昭和大大学院 がん専門看護師 講師(臨床教員)
立場雅子さん(2007年卒業)

たいへんなこともありましたが、大学で看護学を学ぶことはとても楽しいと思いました。4年間の学習を通して自分のやりたいこと・好きなことに気づかせてくれたのが昭和大大学でした。
大学を卒業しても、信頼し合った同級生と、同じ病院に勤務し、励まし合いながら歩むことができるのはとても心強いことです。そして現在では、こうして看護師を目指す母校の後輩を育てる喜びも感じています。



家庭も仕事も大切にする。

昭和大大学病院勤務
谷口恵梨子さん
(2011年卒業)

卒業してから小児医療センターで働いています。ここでは、小児科だけでなく、色々な科の患者さんが入院しています。お子さんだけでなく、ご両親とコミュニケーションをとり、不安や心配を取り除くような関わりができるよう心掛けています。

私は子どもが2人いますが、病棟の皆さんや家族の協力のもと、両立できるよう頑張っています。また、子育ての経験も仕事に活かすことができている。患者さん、そして、ご家族に寄り添い、笑顔になっていく姿をみるたび、看護師としてのやりがいを感じています。



卒業後助産学専攻科に進学し、助産師へ。

昭和大大学横浜市北部病院勤務
吉野早紀さん
(2015年 助産学専攻科卒業)

助産師として2年目になりました。昭和大大学では他学部の学生とも交流が多く、4年間でさまざまな経験をすることができました。

受験勉強はたいへんだと思いますが、夢に向かって頑張ってください。応援しています。